

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	岡本 真一郎	生徒指導主事	松岡 昭治
-----	-------------	----	--------	--------	-------

取組事例名	『生徒指導規程の発展』
-------	-------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性・積極性」	1	「自己理解・自らの自信」	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

生徒指導規程の発展に参画していくことを通して、学校の一員としての自覚や責任をもち、学校生活を営む上で必要なマナーやルールについての意識を深める。また、「学校生活は自分たちでより良くしていく」といった考えを醸成する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード 「発展」 』
----------	--------------------------

<p>①生徒会執行部に生徒指導規程の改訂に関わる考え方や見通しについて説明（教員）</p> <p>②①を軸に生徒会執行部内で協議・改訂案とその理由について整理</p> <p>③生徒指導規程の改訂に関わる考え方や見通しについての説明と改訂案の提示について説明（代議員会）</p> <p>④改訂案に対する説明を行い、現行か改訂案のどちらが良いかアンケート（進行：生徒会長）</p> <p>⑤④の結果を提示し、賛成率の低かった改訂案について各班で協議し、再度、現行か改訂案のどちらが良いかアンケート（進行：生徒会長）</p> <p>（⑥毎年、生徒総会で生徒指導規程について協議する。）</p>	<p>○教師ではなく、生徒が校則を変えていくといったムードを出すために生徒の言葉で生徒に思いが話せるよう生徒会執行部内で協議を行った。</p> <p>○改訂案に対する協議を行い、賛成 or 反対の理由を meet で学校全体に発表・共有を行った。</p> <p>○Chromebook の forms を使ってアンケートを行い、その結果を提示した。また、取組についての感想を生徒指導通信で提示した。</p>
---	---

取組の成果と課題					
----------	--	--	--	--	--

○生徒の感想では、「校則は決められたものだから絶対に守らなければならないものだと思っていたけど、自分たちで考えて実行して、次の廿中生のために校則を時代に合わせて見直していかなければならないんだなと思いました。」「校則は生徒を縛るためにあるものではなく、校則を守ることを通して様々な場面に対応できる力を得たり、自分から守ろうと思うことで成長につながるよい機会をくれるものだと思います。」「生徒指導規程があることによって、今、仲間と仲良く接することができること、今までは普通と思っていたことは生徒指導規程によって守られていたんだと思いました。」と取組のねらいに迫るものがどの学年でも多数見られた。

●肯定的な感想がある一方、自分のことだけを考えた感想やルール自体の撤廃をするべきといった感想がみられた。引き続き、生徒から生徒へ生徒指導規程の発展に対する考え方を訴えていく。